

平成 30 年 9 月 28 日

長岡市教育委員会（定例会）会議録

長岡市教育委員会



1 日 時 平成 30 年 9 月 28 日 (金曜日)

午後 1 時 40 分から午後 2 時 50 分まで

2 場 所 教育委員会会議室

3 出席委員

教育長 高橋 譲                      委 員 鷲尾 達雄                      委 員 羽賀 友信  
委 員 青柳 由美子                      委 員 大久保 真紀

4 職務のため出席した者

子ども未来部長	波多 文子	教育総務課長	曾 根 徹
教育施設課長	遠藤 雄一	学務課長	佐藤 正高
学校教育課長	小池 隆宏	中央図書館長	山田 あゆみ
科学博物館長	小熊 博史	子ども家庭課長	大矢 芳彦
保育課長補佐	長谷川 正和	青少年育成課長	斎藤 裕子
学校教育課主幹兼管理指導主事	高橋 和久	学校教育課主幹兼管理指導主事	神林 俊之
学校教育課主幹兼管理指導主事	丸山 巧	学校教育課企画推進係指導主事	小嶋 修

5 事務のため出席した者

教育総務課長補佐	安達 紀子	教育総務課庶務係長	佐藤 裕
教育総務課庶務係	槇田 悠子		

## 6 議事日程

日程	議案番号	案 件
1		会議録署名委員について
2	第 39 号	専決処理について（校長の人事異動の内申について）
3	第 40 号	専決処理について（長岡市保育園条例施行規則の一部改正について）

## 7 会議の経過

（高橋教育長） これより教育委員会 9 月定例会を開会する。

---

### ◇日程第 1 会議録署名委員について

（高橋教育長） 日程第 1 会議録署名委員の指名を行う。会議録署名委員については、長岡市教育委員会会議規則第 19 条第 2 項の規定により、鷲尾委員及び大久保委員を指名する。

---

### ◇日程第 2 議案第 39 号 専決処理について（校長の人事異動の内申について）

（高橋教育長） 日程第 2 議案第 39 号 専決処理について（校長の人事異動の内申について）を議題とする。事務局の説明を求める。

（曾根教育総務課長） 校長の人事異動の内申について、その処理に急を要したことから、平成 30 年 8 月 29 日付で専決処理を行ったため、報告をし、承認を求めるものである。平成 30 年 9 月 1 日付の人事異動として、前任校長の死去により不在となっていた長岡市立岡南中学校長に、三条市立第三中学校教頭 深澤正英を内申するものである。

（高橋教育長） 質疑・意見はあるか。

（高橋教育長） これより採決に移る。本件は、原案のとおり承認することに異議ないか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(高橋教育長) 異議なしと認める。よって、本件は原案のとおり承認した。

---

◇日程第3 議案第40号 専決処理について(長岡市保育園条例施行規則の一部改正について)

(高橋教育長) 日程第3 議案第40号 専決処理について(長岡市保育園条例施行規則の一部改正について) を議題とする。事務局の説明を求める。

(曾根教育総務課長) 長岡市立保育園条例施行規則の一部改正について、その処理に急を要したことから、平成30年8月31日付で専決処理を行ったため、報告をし、承認を求めるものである。法律の一部改正に伴い、保育料算定の際、未婚のひとり親と指定都市の住所を有する者の取扱いを変更するよう規則を改正するものである。施行日は平成30年9月1日である。

(高橋教育長) 質疑・意見はあるか。

(高橋教育長) これより採決に移る。本件は、原案のとおり承認することに異議ないか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(高橋教育長) 異議なしと認める。よって、本件は原案のとおり承認した。

(高橋教育長) 以上をもって、本日の議案の審議については終了した。

---

(高橋教育長) 次に、協議報告事項に移る。最初に、9月議会における教育委員会関係の質問事項について 事務局の説明を求める。

(曾根教育総務課長) 笠井議員から小・中学校のエアコン設置について質問があった。熱中症事故防止の徹底について、新潟県教育庁から発出された通知の主な内容について伺いたいとの質問に対しては、児童生徒に水分補給をこまめに行わせることや教室等の風通しをよくすること、冷房施設を備えた教室等を使用すること、屋外活動の中止や活動時間の変更を検討することなど、具体的な対応策が8項目示されたと答弁した。今年の猛暑における教室の温度は、高い日に何度あったのかとの質問に対しては、7月19日と20日に35度の記録があったと答弁した。県内及び

長岡市のエアコン設置率と全国平均についての質問に対しては、文部科学省の調査では、平成 29 年 4 月 1 日現在で全国が 49.6%、新潟県が 12.9%であり、当市においては平成 30 年度の実施工事が完了すると約 22.7%になる見込みであると答弁した。保護者から小学校・総合支援学校及び高等総合支援学校の早期エアコン設置が望まれているが、長岡市の基本的な考え方と到達点を問う質問に対しては、総合支援学校の小学部・中学部については普通教室へのエアコン設置は完了していること、小学校と高等総合支援学校の普通教室については、この夏の猛暑からエアコンの設置が喫緊の課題と認識し、当初の計画より前倒し、今後も早期完了の検討を続けると答弁した。また、政府として来年の夏に間に合うように対応をしたいという記者会見が 7 月にあったが、その後考えは示されたのかとの質問に対しては、補助金の内容について、国から現時点で考えは示されていないが、当市としては補助率の増加について国に意見を伝えたいと答弁した。続いて、幼児・児童・生徒の安全確保について質問があった。平成 30 年 5 月 8 日付けの新潟県教育委員会から発出された通知の主な内容と、長岡市教育委員会の対応について問う質問に対しては、学校における防犯教室の充実、学校と家庭や地域の関係機関との連携、不審者の情報共有、地域ぐるみの不審者対策の充実などが通知により示されたこと、当市としては各校に不審者と遭遇した際の対応の仕方や複数での登下校、セーフティパトロールとの情報共有などを指示するとともに、夏休み前に全小学校で地域と連携した通学路の安全点検を行ったと答弁した。平成 24 年度に実施した 3 省庁合同の通学路緊急合同点検の結果についての質問に対しては、160 か所の合同一斉点検を実施し、137 か所の対策が必要と判断されたため、関係機関で対策を検討し、緊急性の高い箇所から改善を図り現在はほぼ対策を終了していると答弁した。また、「通学路の安全対策に関する連絡協議会」の活動及び「通学路の安全対策のための事務システム」の構築内容についての質問があった。平成 26 年に「長岡市通学路交通安全プログラム」を策定し、関係機関とともに計画的、継続的に通学路の安全対策を実施しており、具体的には 5 月末までに、各校で地域の方々とともに安全点検を実施し、順次改善を行っている」と答弁した。次に、藤井議員から学校等のエアコン設置について、中学校・保育園の設置状況と今後の設置計画についての質問があった。平成 32 年度に大規模改修工事が完了予定の 1 校を残し、来年度中に全中学校のエアコ

ン設置が完了予定であること、公立保育園では、0歳児から2歳児までの未満児室には設置済み、3歳児から5歳児までの保育室へは平成31年度に完了予定であると答弁した。小学校・総合支援学校のエアコン設置について、前倒しや期間短縮を含めた今後の計画を問う質問に対しては、計画の前倒しと期間短縮を検討中であること、さらに、早期完了のため機器の選定やエアコンの設置方式、リースの活用など様々な情報収集と、他の自治体の動向を注視し、今後も検討を続けると答弁した。各学校における熱中症対策の取組を教育委員会を通じて紹介し、共有してはどうかという質問に対しては、各学校では様々な工夫をしており、今後、各学校や他市町村の取組を集約し共有することで児童生徒の健康維持を図っていききたいと答弁した。続いて、小・中学校における通級指導教室の設置状況、入級する児童・生徒数の移行及び現状に対する課題について質問があった。課題として、入級希望者の増加に伴い、既存教室での受け入れが困難になりつつあること、最寄りに教室がない場合は保護者の送迎の負担が大きいため、希望があっても入級に至らないことなどが挙げられると答弁した。通常学級で特別な支援を必要とする児童・生徒の増加に伴い、保護者からも拡充を求める声が上がっているが、市の考えを問うという質問に対しては、必要性は十分認識をしており、教室の新設を県に要望していると答弁した。また、通級指導教室の拡充に際しては、専門性のある教員の確保や育成が必要となるが、市の取組はどうかとの質問があった。育成教員の配置要望の結果、今年度2名の配置が実現したこと、特別支援教育の免許状認定講習会の地元開催を要望した結果、長岡市教育センターで開催され、多くの教員が受講できたこと、そして、今後も研修機会の確保や制度拡充について引き続き働きかけを行っていききたいと答弁した。次に、細井議員からは、障害者福祉と自立支援について、高等総合支援学校での障害者雇用促進などの取組状況について質問があった。高等総合支援学校では、就労に向け将来を見据えた5つのコース編成、校内での就労体験が可能な設備の活用、企業等で行う現場実習、総合支援室の取組があると答弁した。

(波多子ども未来部長) 次に、文教福祉委員会の質問事項について報告する。荒木委員から、子宮頸がん予防ワクチン接種について、問い合わせ状況と市の見解を問う質問があった。問い合わせは、年間で1・2回程度あること、「一時的に積極的な接種をやめる」という国の通知に基づいて対応しており、今後も国の動向を注視

していくと答弁した。次に、服部委員から新生児聴覚スクリーニング検査について、長岡市の受診率及び「検査に係る財源については交付税措置されており、公費負担を行い受診者の経済的負担の軽減を図ること」という国の通知を踏まえ、市でも公費負担を実施すべきと考えるがどのような見解かと質問があった。市の受診率は、平成 28 年度は全国の 83% を大きく上回る 97% であり、平成 29 年度は 98.2% であること、交付税をはじめ市税などの一般財源を活用し、長岡版ネウボラの展開等様々な子育て支援施策を実施しており、今後も施策全体で総合的に研究していくと答弁した。

(曾根教育総務課長) 関充夫委員から、エアコン設置におけるコスト面の課題について質問があった。中学校のエアコン設置にかかった平均費用はどのくらいかとの質問に対して、1 校あたりの設置事業費の平均額は約 9,280 万円であること、また、小学校の事業費及び管理費の考え方についての質問に対して、今後機器の選定方法やエアコンの設置方式等の初期投資やランニングコストに考慮した設置方法を検討し、事業費圧縮につなげたいと答弁した。夏休み時期の変更等運用面での工夫はできないのかという質問に対しては、夏季休業日は各校長が定めており一律の対応を行っていないが、今後の望ましいあり方を検討していきたいと答弁した。小学校のエアコン整備順についての質問に対しては、学校の状況や学習環境などの諸状況を考慮して設置を検討すると答弁した。

(波多子ども未来部長) 関正史委員から、P T A 活動の一般的な活動内容及び特徴的な活動内容は何かとの質問があった。一般的な活動は、登下校の交通安全活動や花壇整備、清掃活動等の奉仕活動、学校行事への参加等であり、特徴的な活動の一例として、平成 27 年度日本 P T A 全国協議会会長賞を受賞した石坂小学校では、P T A の参加率が高く、サツマイモ栽培と焼き芋交流会を通して地域ふれあい活動を展開していると答弁した。日本 P T A 全国研究大会新潟大会の内容と成果を問う質問に対して、全国から 6,000 人が参加し「教育は未来を拓く新潟発 米百俵の精神！～新潟に集い、語ろう 未来の人づくり」を大会スローガンに掲げ、様々な議論や情報交換が行われ、学校・家庭・地域それぞれの役割や連携について改めて考える機会となったと答弁した。分科会・見附会場のテーマ「地域連携」ではどのようなことが話し合われたのか、また、P T A 活動の地域連携や家庭教育への効果を

どのように考えているかとの質問があった。見附会場では、コミュニティ・スクールの事例から、子どもたちの健やかな成長には学校・家庭・地域が互いに役割と責任を担い子どもと関わるのが大切であるということが話し合われ、市としてもPTA活動が地域連携や家庭教育に大変効果があると認識していると答弁した。

(曾根教育総務課長) 引き続き関正史委員から、市立学校における保護者対応について、保護者の要望、苦情や批判等に対する学校の対応状況の質問があった。各学校では、苦情等を寄せる保護者も悩んでいると理解し、丁寧な対応に務めており、保護者からの要望、苦情、批判は、学校運営や職員対応を改善するチャンスであり、迅速かつ適切な対応を心掛けていると答弁した。また、度を越えた言い方や無理難題を言う保護者への対応についての質問には、担任や担当者任せにすることなく、校内での共有を図り、組織的に対応していること。一方的に受けるのではなく、学校としてできること、できないことをしっかりと説明する等、場面に応じて毅然とした対応していると答弁した。故郷に誇りを持てる子どもの育成について、伝統文化に触れたり、町内の祭りに参加することの重要性を問う質問では、地域の祭りや伝統文化の魅力も大切であるが、その行事に参加し、伝統文化を守る方々や祭りを盛り上げる方々の背中を見ることで、その地域を好きになり、郷土愛を育むことにつながると考えていると答弁した。次に、大竹副委員長から学校給食費の公会計化について質問があった。現在の市での学校給食費の管理状況を問う質問に対して、市では公会計ではなく私会計で各学校ごとに徴収しており、徴収方法は全学校が口座振替をしていると答弁した。未収金状況・データ比較はどうかとの質問には、平成29年度末の未納額は給食費総額の0.1%であり、全国平均と比べるとかなり低い状況であると答弁した。公会計化の目的は、「学校における働き方改革」の観点で取り組んでいるようだが、どのようにとらえているのかとの質問に対しては、学校給食費の公会計化で教職員の業務負担を軽減するという観点で、国が今年度中に市町村向けのガイドラインを策定する計画であると答弁した。そのメリットと課題をどう考えているのかとの質問に対しては、メリットは主に業務負担の軽減と会計の透明化であり、課題は、公会計化にかかる経費が業務負担軽減に見合ったものか検討する必要があると答弁した。公会計化は費用対策効果を考えて取り組むべきだと思うが、考えを問うという質問に対しては、働き方改革の目的と照らし合わせ、

何を優先的に取組むべきかを見定めていきたいと答弁した。平成 30 年度 9 月議会における説明は以上である。

(高橋教育長) 本会議・委員会ともに多くの質問をいただいたが、特に今年の夏は猛暑であったため、エアコン設置に関連するものが多かった。これは当市特有の課題ではなく、全国的に議論されているものである。当市では、中学校の設置を完了し、その後、小学校に設置する計画であったが、早急に設置する必要があることから、小学校も同時並行で設置し、少しでも早く設置が完了するよう工夫していく。なお、現在は、エアコンが設置されている図書室やパソコン教室を、気温や教室の階数を考慮し交代で利用する、あるいは、比較的風通しの良い体操着で授業を受ける等、各学校で様々な対策を行っている。また、新潟市での事件を受け、通学路での安全対策についても質問をいただいた。当市では、地域の方々が積極的にセーフティパトロールを行ってくださっているが、今後もさらに地域と学校で連携しながら、不審者だけではなく交通事故等を含めて、児童・生徒の安全を確保していきたい。

(高橋教育長) 質疑、意見はないか。

(高橋教育長) 次に教育委員会関係工事等の契約変更について 事務局の説明を求める。

(遠藤教育施設課長) 平成 29 年から工事を進めている大河津小学校校舎改修工事の契約変更についてである。変更後の契約金額が 2 億 4,301 万 2,960 円で当初契約額から 646 万 7,040 円減額をする。主な内容は、外壁改修工事で補修するひび割れの数量が当初設計想定施行数量より減少したことによる減額である。なお、今回の変更による工期の変更はない。

(高橋教育長) 質疑、意見はないか。

(高橋教育長) 次に平成 30 年度全国学力・学習状況調査結果分析と長岡市教育委員会としての取組について 事務局の説明を求める。この内容については、非公開が適切ではないかと思うが、他の委員の方々はいかがか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(高橋教育長) では、非公開とし、傍聴人の退席を願う。

(高橋教育長) 非公開はここまでとし、退席者の再入室を求める。

---

(高橋教育長) 次に、宮内保育園・黒条保育園の移管先法人の決定について 事務局の説明を求める。

(長谷川保育課長補佐) 宮内保育園・黒条保育園は平成 32 年 4 月から民営化を予定しており、その移管先法人が決定したため報告する。移管先法人を決定するための公開プロポーザルを 9 月 14 日に実施し、学識経験者・保護者代表・行政関係者等からなる長岡市立保育園移管先法人検討会議の委員が評価している。宮内保育園の申請法人は、市内で小規模保育所「マンマのお部屋」「マンマのお部屋 e s t」を運営する学校法人北陸学園の 1 法人である。黒条保育園の申請法人は、市内で「蔵王保育園」「いなば保育園」を運営する社会福祉法人王神福祉会と「ほうゆう保育園」を運営する社会福祉法人朋友福祉会の 2 法人から申請があった。プロポーザルの評価検討の結果、宮内保育園は学校法人北陸学園、黒条保育園は社会福祉法人王神福祉会を選定し、選定結果に基づき市長が移管先として決定した。今後は、市ホームページ及び市政だより 10 月号で移管先を公表し、平成 31 年 3 月議会で長岡市保育園条例の一部改正、財産の譲渡に係る議決を行う。平成 31 年 4 月からは実際に保育を行う移管先の保育士から、公立保育園への運営状況や地域の関わり、在園児の様子や対応の仕方を学んでもらうことを目的に、引継保育を開始し、平成 32 年 4 月から移管先法人による運営を開始する予定である。

(高橋教育長) 質疑、意見はないか。

(高橋教育長) 次に、附属機関等会議報告について 事務局の説明を求める。

(小池学校教育課長) 平成 30 年度 第 1 回熱中！感動！夢づくり教育推進会議について報告する。委員改選後、初めての会議を 8 月 22 日に開催した。新任 4 名を含む 13 名の委員が選任されており、任期は平成 32 年 3 月 31 日まで 2 年間である。主な内容は、「熱中！感動！夢づくり教育の理念と 3 つの方策を引継ぎながら、時代に応じた事業展開を望む」や、「社会環境の変化が目まぐるしい現代社会においては、全体の見直しを 10 年から 5 年程度に変更すべきでないか」「事業実施は関係機関や地域の連携・協働が不可欠だ」との意見があった。今回の意見を、今後の事

業実施に生かしていきたい。

(小熊科学博物館長) 平成30年度 第1回長岡市文化財保護審議会について報告する。8月20日に開催し、出席者は長岡市文化財保護審議会委員10名、教育部長、科学博物館職員らが参加した。会議内容は、正副委員長の互選による選出、新たに国重要文化財指定の答申が出された「旧平澤家住宅」についての報告、新たに新潟県文化財指定の答申が出された「木造菩薩立像」について報告を行った。審議・報告内容及び委員からの意見・質問は、「旧平澤家住宅」「木造菩薩立像」に関するものであった。

(高橋教育長) 質疑、意見はないか。

(高橋教育長) 以上で、協議報告事項を終了する。

(高橋教育長) 次に、催し案内等について、補足説明のあるものは挙手を願う。

(小池学校教育課長) 例年開催している劇団四季夢づくりミュージカルを10月11日・12日に実施する。市内全小学校6年生を対象に実施しているが、平成29年度は市立劇場が改修工事で実施できなかったため、中学校1年生も対象とする。両日も午前・午後の計4回「王様の耳はロバの耳」を公演する。

(山田中央図書館長) 謎解きゲーム図書館からの挑戦状は、2年前から中高生向けに利用者増大を図るため実施している企画である。昨年までは中央図書館のみで実施していたが、好評であったため、今回は、地域館も含め実施する。クイズ形式で図書館を探検しながら親しんでもらうものである。次に、10月15日に林真理子講演会を開催する。応募者2,700人のうち、1,500人を当選とした。当日は、図書館活動のパネル展示や映像を上映する予定である。次に、ワークショップ ねんどでつくるミニチュアのたべものは、栃尾美術館で開催中の「世界のドールハウス展」の関連イベントで、ねんどを使って本物そっくりに縮小したたべものを作る催しである。次に、陶芸講座 私の器をつくろう～ピッチャー～は、市内在住の陶芸家 岡崎宗男氏を講師に迎え、毎年実施している好評の催しである。

(小熊科学博物館長) 企画展「長岡城跡」は、長岡城跡の発掘調査の出土品や調査の成果を紹介する。11月4日まで科学博物館企画展示室で開催し、昭和59年度の越後交通ビルの建設、アオーレ長岡や地下駐車場の開発に伴う発掘調査で出土した陶磁器・堀・井戸等の遺構について解説する。次に、馬高縄文館特別展「縄文後期

後半の土器の変遷と広がり」を開催し、縄文後期後半の土器の特色を紹介する。最終日には縄文フェス(関原楽市縄文まつり)を開催し、エレキチェロの第一人者 斎藤孝太郎氏による火焰土器や土偶の文様を音符に置き換えた楽曲が披露される。次に、第43回長岡市郷土民俗芸能公演会を10月28日アオーレ長岡の市民交流ホールAで開催する。長岡地域から4団体、支所地域から4団体が出演する。

(大矢子ども家庭課長) 思春期向け次代の親育成事業として、中学生を対象にした親子のふれあい事業を行う。生命の大切さを座学で学んだ後に、保育園や子育ての駅などで乳児と母親とのふれあい交流を行う。次に、子育てあんしん支援者養成講座は、昨年度に引続き2回目の開催である。災害時であっても乳幼児や妊産婦を支援できる方を養成し、全ての講座を受講された方に修了証を交付する。対象は、母子保健推進員、主任児童委員、子育ての駅スタッフ等を予定している。なお、子育ての駅では各種防災講座を定例的に開催しているほか、10月21日には希望が丘小学校で開催される市の総合防災訓練の際に、子育てあんしん避難所で備蓄している備品を紹介する予定である。次に、罹患者が増加している風しんの注意喚起については、健康課と連携しながらPRを行っている。妊娠初期に感染すると、難聴や先天性心疾患、白内障などを主症状とする先天性風しん症候群の赤ちゃんが生まれる可能性がある。妊娠を希望する女性や家族の抗体検査は県が無料で受けられるように助成しており、検査で抗体価が低いまたは陰性であると判断された方には、市の健康課で予防接種の費用助成を行っている。子ども家庭課内の母子健康手帳の交付窓口や、子育ての駅でもチラシを掲示して問い合わせにも対応している。

(斎藤青少年育成課長) 今年度も就学時健康診断時にあわせて保護者向けの就学時家庭教育講座を実施する。10月10日に開催する岡南小学校、東谷小学校を皮切りに、全小学校55校のうち54校で実施する。先日の担当者事前打ち合わせ会では、大久保委員からSNSの利用についての講義があり、その内容も活かして講座を実施する。

(高橋教育長) その他に報告事項はあるか。

(高橋教育長) 以上で本日の定例会を閉会する。

---

会議の次第を記載し、その相違ないことを証するために署名する。

長岡市教育委員会教育長

長岡市教育委員会委員

長岡市教育委員会委員